

# 私たちの高専

Our KOSEN

## 小山高専

小山工業高等専門学校 専攻科 電子システム工学専攻 2年 / 矢口 裕

「小山高専ってどんなところ?」という質問に今まで何度答えてきたでしょうか。

まず、中学生の頃、小山高専を受験すると友達に言ったときから始まり、高専の本科に在学中も、小山高専に通っているという話になれば、だいたいその質問を受けました。専攻科に通う現在でも同じです。むしろ、小山高専の説明に加えて専攻科の説明もしなくてはならないので、以前よりも面倒になった気がします。

さて、6年以上も小山高専に通っているせいか、学校の紹介文の執筆を依頼されました。そのため、あらためて「小山高専ってどんなところ?」に答えることになりました。私は他の高専をほとんど見たことがないので、小山高専のことしかよく知りません。私にとって、高専といえば小山高専なのです。他の高専とここが違うとか、小山高専らしい部分はここだというような話はありませんけれども、僭越ながら学校の紹介をさせていただきます。

小山高

専は栃木県小山市にあります。小山市は東北新幹線が通っていたり、国道4号が通っていたり、鉄道にしても道路にしても交通の便が良いところです。学校は小山駅からいくらか離れていて、自転車でだいたい20~30分くらいかかります。学校の周りは、都会の真っ直中というわけでもなく、大自然に囲まれているというわけでもありませんが、騒音も少なく、落ち着いた雰囲気のところですよ。

学生のほとんどは県内の出身者ですが、小山市は栃木県の南部に位置し、茨城県や埼玉県にも近いので、県外から来る学生も多いです。余談ですが、クラスの中に栃木なまりの人と茨城なまりの人がいたせいで、いつのまにか栃木なまりでも茨城なまりでもないような変な話し方が身につけてしまい、地元の友達に笑われました。

そんな学校の教育方針は、「技術者である前に人間であれ」ということで、健やかな心身、豊かな人間性、科学技術の研鑽と創造の三つを掲げ、人間としての成長を第一義としています。小山高専の本科には、機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科の5学科があり、専攻科には、電子システム工学専攻、物質工学専攻、と建築学専攻の3専攻があります。小山高専は建築学科がある数少ない高専のひとつです。

小山高専では、毎年、工陵祭という文化祭を開催しています。来場者は、近くの住宅街の親子連れや進学希望の中学生、小山近辺の高校生や大学生、近隣の企業の方などさまざまで、ロボコンの全国大会に出たロボットのデモンストラレーションなど、幅広い年齢層の方に親しまれています。工陵祭の最後には、音楽に同期させて花火を打ち上げるのですが、これも評判です。

こんな小山高専に通う学生の雰囲気は、個

小山工業高等専門学校		
所在地	栃木県小山市	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気情報工学科	40
	電子制御工学科	40
	物質工学科	40
	建築学科	40
専攻科	電子システム工学専攻	12
	物質工学専攻	4
	建築学専攻	4



性的な学生が多いのでひとくりにしにくいのですが、私はこのように思います。お笑い芸人のヒロシのネタに、「ふと気がついたら、輪ゴムで1時間遊んでいました。」というのがありますけど、小山高専には輪ゴムで1時間遊べるような人が集まっている気がします。しょうもないことにも熱中できるという意味でもありますし、あるものを工夫して面白くできるという意味でもあります。他の解釈をしてもおそらく、小山高専生の一面をとらえているのではないのでしょうか。

最後になりますが、栃木県は関東地方です。東北地方ではありません。小山高専も関東の高専だということをご覚悟しておいてください。

## 東京高専

東京工業高等専門学校 2年機械工学科 / 江口 洋丞

私は生まれつきの歯車好きです。歯車の塊である機械は、私に限りない興味を与えてくれます。「将来は自動車の開発に携わりたい」という夢を抱いています。中学卒業後の進路として、いくつかの高専を候補としていましたが、実家が埼玉にあることや学校周辺の自然や騒音などの環境も含めて考慮したうえで、東京高専に入学しました。

ハイブリッドシステムに興味がある私は、出願のときに志望学科を機械工学科にすべきか、電子工学科にすべきか迷いました。なにしろ高専は5年制で、一度学科に配属されると他学科に移ることが事実上不可能だからです。しかし、私が入学した平成17年度から、東京高専では1学年時は学科にとられない混合学級が取り入れられ、入学後1年間は全5学科の基礎を学習できる「ものづくり基礎工学」という授業が設けられました。そのお陰で、2年進級時には自分が専攻すべき学科は機械工学科であることを確認することができ、迷うことなく志望することができました。友人の中には、この時点で志望学科を入学時のものから変更した者もいた。1年のときに、学科を越えて広い友人関係を持てたことはプラスであったと思っています。

友人関係といえば、私にとって寮は欠かすことのできないものになっています。普段の授業でわからないところや、テスト勉強をするときなど、互いに教え合うことができるからです。そのうえ、寮生はそれぞれが多様な趣味があるので、刺激のある楽しい毎日を送っています。そればかりではありません。人生の中でこの上なく貴重なこの時間を、通学に費やすことなく効率的に利用することができるのです。また、開寮期間中は寮食堂で毎日3食食べられるので、栄養バランスが偏るようなこともありません。

さて、そんな東京高専はどんなところにあるかというと、東京都八王子市、登山客で賑わう高尾山の近くにあり。個人的には関東地方というと、関東平野というイメージが強いですが、周囲にはきつい勾配の坂が多くあります。最寄り駅は、高専まで徒歩3分の京王高尾線狭間駅です。同じ京王線の聖蹟桜ヶ丘付近を舞台にした映画「耳をすませば」をご覧になった方も多いことでしょう。裏山では毎年春になると笛が出るのどかなキャンパスですが、都心新宿まで1時間ほどで出ることでもでき、最新の情報にも遅れを取ることのない好立地です。

特色ある授業、厳しい上下関係の無い和気あいあいとした雰囲気、制服が無い、など中学校とは比べ物にならない自由な校風、入学当初はすべてが初めて、すべてが驚きでしたが、いつしかすっかり馴染んでまいりました。

この恵まれた環境のなか、我々東京高専の学生は着実に将来に向けて歩んでいます。そのひとりである私もまた、自動車の開発という夢に向かって日々授業と格闘しています。今年は2年生となり、専門科目が始まり、授業の一つ一つが自分の夢へと繋がってゆく手ごたえを感じながら、やはり私は高専に進学して正解だったと実感しているところです。

東京工業高等専門学校		
所在地	東京都八王子市	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気工学科	40
	電子工学科	40
	情報工学科	40
	物質工学科	40
専攻科	機械情報システム工学専攻	8
	電気電子工学専攻	8
	物質工学専攻	4

